



農作業安全パトロール

農作業事故防止

明日も農業をつづけるために



疑似体験

！ 農作業事故はどのくらい起きているの？

農作業事故は年間 **約7万件**、1日あたり **約200件** 発生しています！※1

農業従事者10万人あたりの死亡事故者数は建設業の **約2倍** となっています！！※2

農業者が安心して農業を続けることができるように、
少しでも事故を減らしていかなければなりません！

※1 共済金支払データに基づきJA共済連にて推計 ※2 農林水産省調べ

農作業事故って
こんなに発生して
いるんだね！



！ どうして農作業事故は起こるの？

農業では、毎日一定の環境で仕事をする
ことはありません。

事故には **環境** **物** **人** の3つの要因が
あります。

環境(ほ場、施設など)

山がちな日本では、「斜面での作業」が多く、
「高所で作業」することもあります。

さらには、ビニールハウス、倉庫、畜舎など「狭く・暗い施設での作業」、そして夏場には
「炎天下での作業」がつきものです。

こうした農業特有の **環境** が事故に影響しています。



物(農機具、農業資材など)

多くのレバーやスイッチがある農機具は操作を誤ってしまうことがあります。作業機の取り付け等により「重心の位置は変化」します。また、「鋭利な刃や回転物」のある機械が多く、取扱いには注意が必要となります。大きな事故の多くは「物」が要因となって起きています。



人

種まきや収穫などの繁忙期には「疲れや焦り」が生まれます。「一人での作業」も多く、いざ事故が起きたときに、発見が遅れることもあります。こうした農業に携わる「人」の特性も事故に影響しています。



まとめ

このように農業ならではの3つの要因が積み重なることで、農作業事故が発生する可能性は高まります。



ちょっとした油断で…
機械・用具の欠陥で…
条件の悪い環境で…

農作業中の事故



農作業事故は、一度起こってしまうと取り返しのつかないこともあります。しかし、適正な知識と対策を身につけることで、事故を未然に防ぐことができます。

そこでJA共済は、農作業事故を未然に防ぐために必要な知識や対策が学べるコンテンツをご用意しました。

農作業事故の要因や対策などを動画で紹介!

JA共済の地域貢献ホームページ「ちいきのきすな」では、農作業事故に関する「学習コンテンツ(2D動画)」や「農作業事故体験VRコンテンツ(VR動画)」を公開しています! ぜひご覧ください!!



動画で事故の要因や
対策について学べるよ!



※こちらのチラシおよび動画などのコンテンツは、自由にご活用ください(非商用に限ります)。



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の地域貢献活動